

人の役に立つ人間になりたい！

校長 大谷 京司

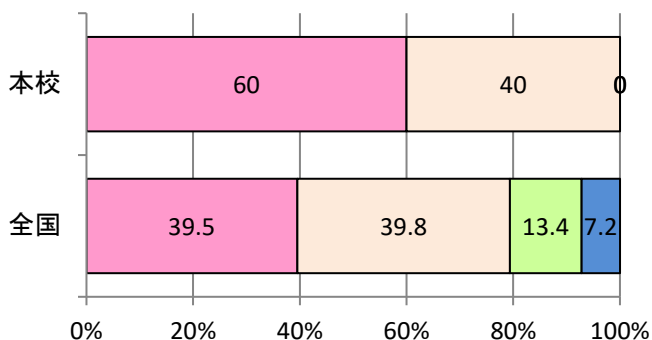
今年の夏休みは猛暑にコロナ感染再拡大と、なかなか思い通りに過ごせる環境ではなかったかもしれませんが、子どもたちにとっては、学校とはまた違う様々な学びを得る大きな機会となったことと思います。

7月末に、今年の4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が報告されました。個々の結果は担任より説明をしながらフィードバックすると同時に、今後の指導の工夫・改善に生かしていきたいと思いますが、児童質問紙における特徴的な所をとり上げて紹介したいと思います。サンプル数が極端に少ないためあくまでも参考という域は出ませんが、本校の特色もよく表しているのではないかと思います。

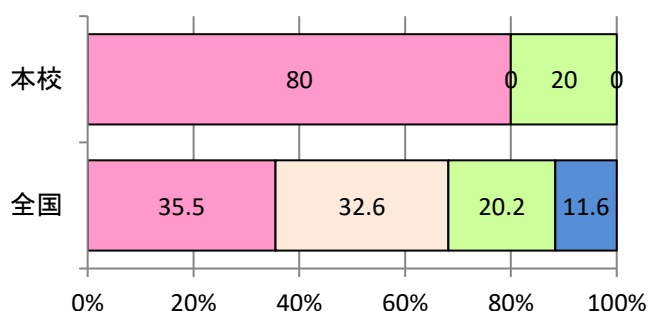
児童質問紙(問題とは別の児童に対するアンケート)に対する回答(対象は現6年生)

(■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない)

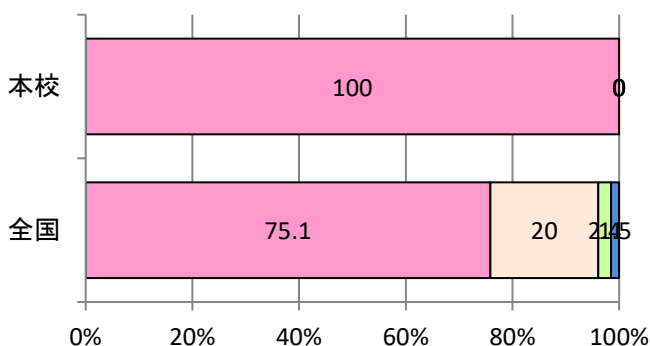
7 自分には良い所があると思いますか



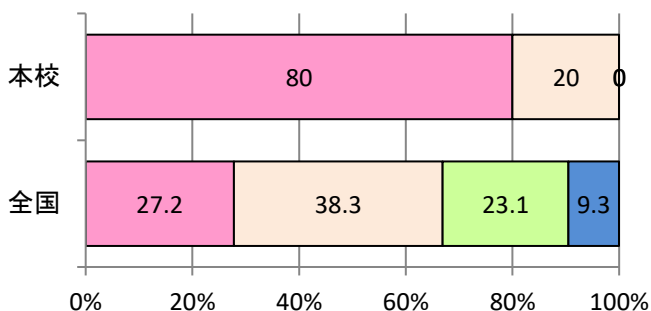
14 困りごとや不安のある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



38 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか



3年ぶりに復活 1泊2日キャンプ！

待望の全学年による宿泊行事がようやく復活しました。猛暑日の中でしたが、感染症対策及び熱中症対策に十分注意しながら、無事に充実した2日間を過ごすことができました。

低学年児童にとっては、親元を離れての宿泊というだけでも高いハードルだったことと思いますが、そこは普段から縦割りグループで活動していることもあり、あらゆる場面で上級生が下級生の面倒をよく見てくれていました。

当日の活動内容の決定や運営も子どもたちが主体的に行いました。このキャンプを通してひとわりたくましくなったことと思います。



何をどう学ぶ？ ～プロジェクト学習を通して～

私たち(大人世代)は、一斉に課題を先生から与えられるといった授業スタイルで学んできた人がほとんどだと思います。明治以降、近代化を急ぐ日本にとって、このような教授方法は一定の成果が見られ、日本の繁栄に大きく寄与したことは間違いありません。しかし、これからの時代を生き抜く子どもたちには、自分で必要とする知識等はコンピューターを駆使しながら、自分で課題を見つけ、自分の頭で考え、自分で良いと思ったことを行動に移す力が必要となっていると思います。



サッカーボールにカーブをかけるにはどうすればよいか実験

今年度より始めたプロジェクト学習。まだまだ自分の学習計画を立てる点では課題があると思われませんが、みんな手探りながらも自分の力で探究を進め、自分なりに納得する結果を得ようと頑張っていました。キノコの菌糸を培養して観察を続けている子もいれば、小学生と年配の先生の記憶力をテストしてその結果をまとめている子もいれば、二重跳びの得意な子の動画を撮影して得られた結果から自分にそれを取り入れようとしている子もいるといった感じです。学ぶフィールドも学び方も人それぞれ。プロジェクトの同じ時間枠の中で、みんな違う取り組みをして自分なりに探究活動を楽しんでおり、新しい学びが始まったことを実感しました。



水平対向エンジンについて調べ模型を制作



低学年(1・2年生)は学年で共通のテーマを見つけ、自分たちで学んでいきます